

資料⑤		授業記録と分析	第3学年 題目「 $1/5 + 2/5$ はどう考えたらいいのかな。」	2017. 10. 18(水)
		教師	子ども	子どもの様子とその要因 □改善策
0	板書 10/18(水)もう書いてる人もいますね。分数？ ⑥ 問題をすぐを書く。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> $1/5$ Lの麦茶と $3/5$ Lの麦茶を水筒に入ると、合わせて何Lになるだろう。 </div>		⑥ (各自ノートに問題を書く。)	<div style="border: 2px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> なぜLを取るのかを理解していない子がいた。$1/5 = 1/5$ Lという意識が薄れることに繋がった。 (要因) ▲【既習事項との関連】 Lを取る意味について全体で扱っていない。 </div>
3	みんなのノートを見て回る。 書いたら鉛筆を置いてください。 読みますよ。さんはい。 何算になりますか。 どうしてそう思った？ 合わせてだからたし算でいい？ 今まで分数のたし算したことある？ できそう？式立てられる？式書いてみてください。	C1 全 C1 全 C1 全 C2 全 C2 全 C2 全	全員で問題を読む。 たし算です。 同じです。 合わせてだから、たし算だと思いました。 同じです。 ある。ない。(両方の子がいる) できる。(A児：首をかしげる。書いた後、隣のB児の式を見て確認する。) 各自ノートに式を書く。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> $1/5$ L + $2/5$ Lと書いている子数名いた。机間指導の時に、教師が個別に「今回はL消して。」と指導し消させ </div> うん、書けた。答えも書いた。多くが挙手。 <u>$1/5$ L + $2/5$ Lです。</u> 同じです。 $1/5 + 2/5$ はい。 できる。超簡単。	<div style="border: 2px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> 初めの困りが共有されていない。「できる」という子に課題意識がない。 (要因) ▲【困りの共有】 困りを出させていない。困りを出させるチャンスが、2回はあった ▲【課題の見出し】 課題を教師から与えていて、子どもと共に設定していない。「どうやって考えれば良いか」という課題が十分に共有されていない。 ▲【どのように考えればよいか】 を解決するための見通しになっていない。答えを見つけるための見通しという認識がある子もいた。 </div>
	式は書けた？式を言ってくれる人？ C2さん <u>今回はLを取りますね。</u> 式「 $1/5 + 2/5$ 」を板書。これでいいですか？ <u>できる？簡単？</u>		<div style="border: 2px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; margin: 10px 0;"> *困りを出させるチャンス① </div>	<div style="border: 2px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> □課題設定の仕方 伝え合う・説明し合う意識を持たせるために、課題は子どもと共に設定する。 (課題意識・追究意欲) </div>
7	<u>じゃあ、今日の課題を書きます。今日は、$1/5 + 2/5$はどのように考えたらいいかな。</u> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> $1/5 + 2/5$はどのように考えたらいいかな。 </div>	C3 図とか。 C3 数直線とか。Lマスとか。 C4 テープ図 () はした 多数 できる。 C5 (できなさそう・・・)*つぶやき	課題をノートにかく。	<div style="border: 2px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> 困り→困りの共有・価値付け→課題 ここでの「できそう？」という問いかけの後、数名に言わせる。「できるか分からない。どこをたすの？どうやればよいの？」などの子どもの困りを出させ、板書にも位置付ける。 ↓ 「分数のたし算でできるのかな？どうやったらできるのかな？本当だね。分数のたし算で初めてだからどうやたらいいんだろうね。」と困りを価値づけ、みんなで共有する。出来る子にも意識させる。 ↓ 「今日の課題何にしようか？みんなで何を考える？何を解決しようか？」(してあげるではない。)と子どもに投げかけ、みんなで解決したいことを子どもに言わせる。 ↓ じゃあ、今日の課題はこれでいい？みんなで考えを出し合って、「どうやって考えたらいいか」を発見しようね。等。伝え合う意識・説明し合う意識を持たせる。 ↓ 「どのように考えるか」という課題について考え・伝え合うための見通しを持たせる。 </div>

